



**2015年4月改訂(第8版) D4
*2013年9月改訂

日本標準商品分類番号
872642

貯 法：室温保存
開蓋後カビが発生する場合がありますので、
汚染防止のため、清潔に取扱うこと。
使用期限：外箱、容器に使用期限を表示

承認番号	22000AMX00091
薬価収載	2008年6月
販売開始	1950年10月
再評価結果	1977年7月

外用抗ヒスタミン剤

ベナパスタ®軟膏4%

VENAPASTA® Ointment 4%

(ジフェンヒドラミンラウリル硫酸塩製剤)

【組成・性状】

販売名	ベナパスタ軟膏4%
成分・含量 (1g中)	ジフェンヒドラミンラウリル硫酸塩 40mg
* 添加物	グリセリン脂肪酸エステル、サラシミツロウ、 シヨ糖脂肪酸エステル、シリコーン樹脂、ステ アリン酸、ステアリン酸 カリウム、ステアリン 酸ポリエチレングリコール、セタノール、ソル ビタン脂肪酸エステル、パラフィン、ブチルパ ラベン、プロピレングリコール、ポリオキシエ チレンセチルエーテル、メチルパラベン、ラノ リン、流動パラフィン その他の添加物として香料にエタノール、フェ ニルエチルアルコールを含有する
製剤の性状	白色の軟膏、特異臭

【効能・効果】

じん麻疹、湿疹、小児ストロフルス、皮膚痒痒症、
虫さされ

【用法・用量】

通常症状により適量を1日数回患部に塗布又は塗擦す
る。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

炎症症状が強い浸出性の皮膚炎の場合には、適切
な外用剤の使用によりその炎症が軽減後にもかゆみ
が残る場合に使用すること。

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確と
なる調査を実施していないため、発現頻度につい
ては文献、自発報告等を参考に集計した。

総症例661例中副作用が報告されたのは14例
(2.12%)で、主な副作用は灼熱感6例(0.91%)、過
敏症5例(0.76%)等であった。(再評価結果)

副作用が認められた場合には、使用を中止するな
ど適切な処置を行うこと。

頻度 種類	0.1~5%未満
過敏症	皮膚の発赤、腫脹、痒痒感、 湿潤

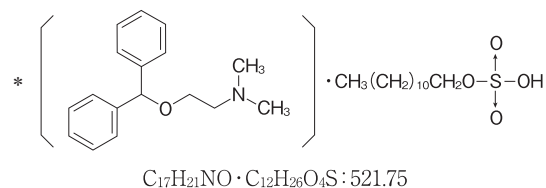
【薬効薬理】

ヒスタミン皮膚反応^{1~3)}、マントー反応²⁾及び回虫体
腔液反応²⁾の実験的皮膚反応における紅斑、膨疹、痒
痒に対し抑制作用を示す。

【有効成分に関する理化学的知見】

○一般名：ジフェンヒドラミンラウリル硫酸塩
(Diphenhydramine Laurylsulfate)

○化学名：2-(Diphenylmethoxy)-N,N-
dimethylethylamine



○性状：

- ・白色～黄褐色の固体又は粘稠な液。
- ・アセトニトリル、メタノール、エタノール(99.5)
又はジエチルエーテルに極めて溶けやすく、水に
極めて溶けにくい。

【包 装】

ベナパスタ軟膏4%：500g

【主要文献】

- 1) 小堀辰治 他：臨床皮膚泌尿器科 1951;5:518-521
- 2) 野口義圀 他：臨床皮膚泌尿器科 1952;6(2):76-78
- 3) McGavack, T. H. et al. : Arch. Derm. Syph. 1948;
57:308-318

**【文献請求先】

田辺三菱製薬株式会社 くすり相談センター
〒541-8505 大阪市中央区道修町3-2-10
電話 0120-753-280

**



製造販売元

田辺三菱製薬株式会社
大阪市中央区道修町3-2-10